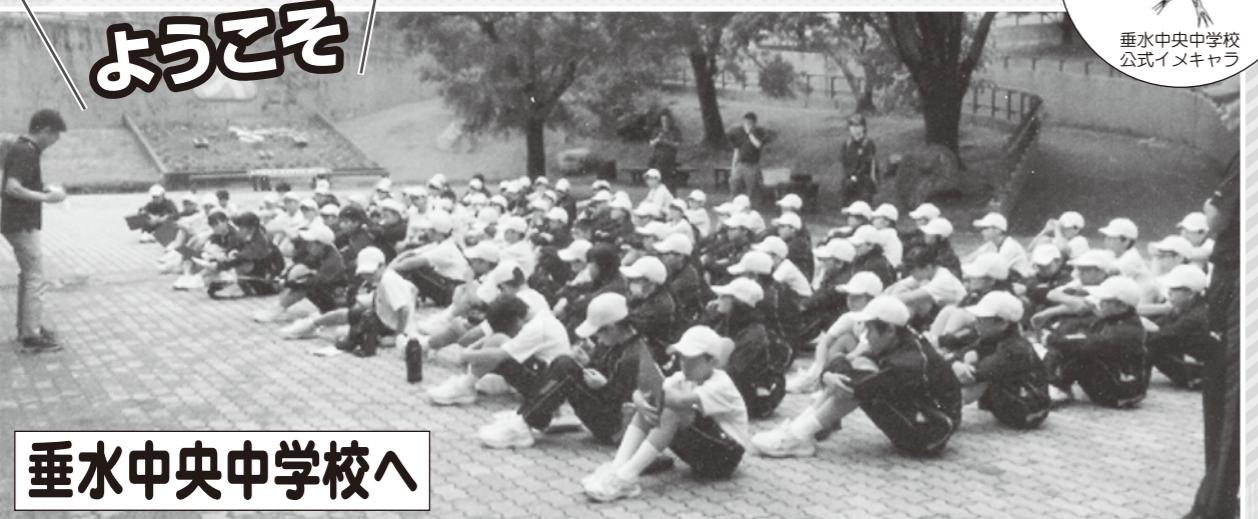


垂水中央中学校PTA新聞

垂水一心

編集：垂水中央中PTA広報文化部 発行：垂水中央中学校PTA

1年生 ようこそ



みな中学生でしたか

今より少し痩せていました。
野球部に所属し、教科は社会科が好きでした。

★お勧めの本

- ・きみの友だち（重松清）
 - ・カラフル（森絵郁）
 - ・くちびるに歌を（中田永一）



校長先生にインタビュー

★ひとこと

自分で自分を軽蔑したりバカにしたりしていませんか。自分をダメだと思い込んで何かに成功した人はいません。自分の持っている力を誤解しないでください。あなたには、まだまだ使っていない能力が眠ったままになっているのです。

- 1 -

会長

二年生は、学校の中核としての自觉が芽生え、三年生は最終学年を迎えて、進路について考えたり、最後の学校行事を楽しみながら、日々を大切に生活していることでしょう。

これから生徒たちは、夏休みを有意義にすごし、二学期の体育大会や文化祭などの学校行事で協力したり競い合ったりして、更に成長することでしょう。

校訓に「創造・感動・鍛錬」を掲げた学び舎で日々成長する生徒たちのため、生徒の成長を手助けして導いてくださる先生方、そして、子どもたちの成長を一番に願う保護者の皆様とともに、PTA活動を通じて、垂水中央中学校を盛り上げていければと考えております。本年度も皆様のご協力をお願ひいたします。

卷之三

と思うから様子を見て。「とおっしゃいましだ。すると、その子は自分で、しっかりと嫌いな食べ物を食べました。私は、このことから、無理に食べさせるのではなく、見守りながら待つてあげる事が一番大事なのだと感じました。

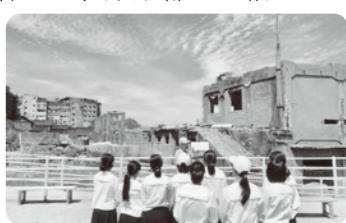
そして、最終日は、一日目とは別の三歳児から五歳児のクラスに入りました。朝、子どもたちが自分のお仕事をしている時に、分からなかつたり困つたりしていたら保育士さんがすぐに手伝うものだと思つていました。しかし、そうではなくて必要な時だけ手伝い、子どもたち自身に最後まで頑張らせ、やり遂げさせることが本当の手伝いなのだと学びました。最後の時間に、子どもたちとたくさん話して遊んで、お別れのときはとても寂しかったです。

この三日間で、先生として本読みをしたり、手伝いをしたりたくさん体験させていただいて、保育士の仕事について学ぶことが出来ました。また、子どもたちと気持ちが通じ合うことの喜びを感じ、職場体験だったけれど、本当の保育士のようになれたと思いまして。この体験を今後に生かしていきたいです。

修学旅行を終えて

2年3組 前田 美響

私が修学旅行で特に心に残ったことは、二日目のタクシー研修と軍艦島です。タクシー研修では、眼鏡橋や中華街に行き長崎をたっぷりと味わうことができました。軍艦島では、実際に上陸することができ、島の中でガイドさんの説明を聞きました。軍艦島について一番驚いたのは、最盛期に五千二百人以上の島民が暮らし、東京都の九倍といふ人口密度の町になったことです。私はそれを聞いた時、こんなにしんと静まりかえった所に人が住んでいたなんて想像もつかず、本当にすごいと思いました。この他にも、平和学習では戦争・原爆の恐しさやこれから日本の平和について考えたり、ホテルやグリーンランドでは友達と過ごす本当の楽しさを感じたりすることができました。たった三日間という少ない時間でしたが、平和についてだけでなく集団行動の大切さなど人としてマナーも学び、とても貴重な三日間でした。今回、学んだことをこれから学校生活に生かして過ごしていきたいです。



宿泊

学習を終えて

一年三組 大菌 心音



